

1 はじめに

本校の特別活動の目標は、「自主性・自発性を尊重し、創意ある生き生きとした活動の展開により、学校生活の充実を図る。」である。

この目標を達成するために、本校では次のような活動を行っている。

2 資料（実践例）

＜キッズタイム・児童集会＞

キッズタイムでは、異学年集団の場と活動を意図的に設定し、学級や学年をこえた人間関係がつけられている。特に高学年は、下級生のお世話をし、思いやりの心や、班をまとめる力が育ってきている。毎回、班ごとに遊びやルールを工夫し、全学年が楽しめるように考えながら実施している。



また毎年、年2回計画委員会が主催する児童集会を行っている。1月の児童集会では、ジャンケン玉取りゲームを行った。班で玉の個数を競い合うため、高学年を中心に作戦を練るなど各班で協力し合って活動した。2月に予定されている玉入れゲームでは、ダンスを踊りつつ玉入れを行う。これは本校の運動会の低学年種目で毎年実施されている。

3 成果と課題



- ・異学年交流の場となり、これらの活動を通して自分以外の学年の児童と仲よくなり、通常の休み時間にも遊んでいる姿が見られる。
- ・縦割り班活動では、高学年を中心とし、児童同士が主体的に協力し合って活動することができ、集団としての一体感が育っている。
- ・感染症予防対策として、屋外で実施する活動のみになることやソーシャルディスタンスを保つことができる活動を実施しているため、今後活動内容の見直しを図りたい。
- ・児童集会の企画・運営を通して、計画委員の児童の愛校心を高めることができた。活動の達成感は、これからの学校生活への意欲となり更なる自主性・自発性の向上が期待できる。